

講義名	経営戦略論A			授業形態	
担当教員	李 東浩	開講期・曜日・時間	前期 水曜日 1 時限		
		単位数	2	履修開始年次	2 年生
				ナンバリング・コード	STG260

### 主題と概要

本授業は双方向・多方向的な授業である。  
 本授業は独自開発した「ファイブ・モジュール」考える学習型授業教育法を実施する。  
 本授業の実施方法の詳細について以下を参照してください。  
 李東浩(2017)「学生の心を掴む生き生きした教育 教学双方の意識転換によるアクティブラーニング」『流通科学大学高等教育推進センター紀要』第2号 pp.75-104(30頁)。  
 ちなみに、本ゼミの実施方法の詳細について以下を参照してください。  
 李東浩(2018)「学部ゼミ運営に関する一提案 “楽しく頑張る”から“ひとづくり”」『流通科学大学高等教育推進センター紀要』第3号 pp.1-19(19頁)。  
 大学教育改革に関する論文も公開しており、以下を参照してください。  
 李東浩(2022)「大学教育の進化と革新 レスポンスの活用とコロナ対策のオンライン教育の実象」『流通科学大学高等教育推進センター紀要』第7号 pp.119-134(16頁)。  
 李東浩(2023)「学習能力の形成と進化 知の定着、深化と探索のパラダイム」『流通科学大学高等教育推進センター紀要』第8号 pp.107-121(15頁)。  
 真面目な学生・本気に勉強の意欲がある学生は強く勧める。

### 到達目標

- 履修生は、経営戦略論を学修するものにとって当然知っておくべき知識を習得できるようになる。経営戦略論の基本的な理論を紹介するとともにケーススタディ(事例研究)をも採り上げるので、理論と実際とをバランスよく理解できるようになる。
  - 履修生は、本講義を学修することによって、日常に企業に触れたり、企業に関する新聞記事を読んだり、ニュースを聞いて、経営戦略の側面から評価し、レポートにまとめることができるようになる。
  - 本授業で得られた経営戦略の理論とケースの知識・能力を身につけ、初歩的な経営計画を作成できるようにする。
- 具体的に、  
 (1)知識・能力・資格を身につける。  
 本授業を通じて、どの組織でも経営する際に根幹となる長期的な基本方針と発展方向、計画策定と意思決定など経営戦略に関する基礎知識・能力と資格を学修・習得して身につけるようになる。  
 (2)思考力・判断力・表現力を向上する。  
 論理的に基本的な概念・理論と方法を学ぶだけでなく、毎回の授業に実際の企業の事例をも採り上げ、ビデオをも活用しながら、理論と実際とをバランスよく理解できる。ただ単に授業内容とビデオを聞く・見るだけでなく、考えて、判断、討論、発言、考え直し、まとめ、といった一連の仕組みで毎回、知識・能力が身につけることを実感できるようにする。  
 (3)主体的な学習態度を養成する。

### 提出課題

- 各自事前にも、以下4つのシステムを使用できるように準備しておいてください。  
 リュウカポータル、  
 アウトlookメール、  
 レスポン、  
 キャンパスクロス  
 などの使用方法等を熟知・理解し、毎回課題を提出できるように準備してください。
- 毎回レスポンス課題と期末試験(オンラインレスポンス課題提出式)の提出があるので、作成要領等の指示に従い、〆切期間中に提出してください。ただし、単位判定対象となるのは、期末試験(オンラインレスポンス課題提出式)の1回のみである。
- それ以外の回では、レスポンス課題は自由提出になる。成績に影響を与えない。ただし、学習勉強と自己成長の効果を実感するため、毎回の提出を勧める。期末試験(オンラインレスポンス課題提出式)の準備練習としても、毎回の提出を勧める。
- 毎回、発言と討論の時間はある。1分前後の発言がある場合、プラス 2点を与える。留学生も含めた履修生全員、積極的に討論・発言していきたい。

### 課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバックの方法

- 毎回、前回課題へのフィードバックと振り返りを丁寧に解説する。優れた長所を挙げてほしい内容等をマーカーや色付けで強調して表彰や注意喚起をする。学習への意欲がモチベーションアップにつながるだろう。
- 毎回、全体的な状況や一部代表的な課題を基本として提示する。双方向・多方向的な考えを学習型授業の醍醐味を理解して、互いに勉強しよう。
- 毎回、自分の学習成果のチェックだけでなく、他人の意見や考え、先生のコメント・説明をも確認できる。POAのスパイラルアップ過程を通じて、毎回自分のやる気にもつながり、自己成長を実感できる。

### 評価の基準

- 期末試験(3日間・オンラインレスポンス課題提出式)の1回分(100点満点) + 平日発言プラス 点数(最大30点)で総合的に判定する。
- 期末試験の前身である、内容・要領・期間・時間等について、ポータルシステムとキャンパスクロスの両方に提示する。平日、真面目な授業態度を持ってほしい内容等をマーカーや色付けで強調して表彰や注意喚起をする。学習への意欲がモチベーションアップにつながるだろう。ネット等の不具合対策を考慮したうえで、余裕をもって、〆切まで期間中に提出してください(特に〆切の間近に、ネットなど不具合の可能性もあるので、時間の余裕をもって提出してください)。〆切後の提出は認めない。レスポンス以外の提出は認めない。土休日等、返信が遅くなり、次の授業日にする。成績に関する問い合わせは受付しない(連絡しても返事しない)。教務部へ問い合わせください。

### 履修にあたっての注意・助言他

- 先輩からの以下の意見是非参考してください。
- 「5回に触れる画期的な授業」:  
 充実した内容、効率的な進め方で知識と能力を身につけられる!
  - 「この授業を1つの企業とすると、CEOに李先生で社員が私たち生徒だとすると、社員に意見する場を与えて、それを共有し、すくに行実する。優良企業だと思えます。モチベーションがとても高く維持できています」:  
 一方的な授業ではなく、交流の場でもある!
  - 「いま4回生だもって早くこの授業に出会いたかった」:  
 知識そのものだけでなく、知識を獲得する姿勢と方法を学べる!
  - 「単位を取ることはとても大切ですが、この授業では、それだけのための授業ではないと私は、強く思います」  
 単位と知識能力を両立して楽しく取るう!

### 教科書

.使用しない。

### 参考図書

マネジメント・テキスト 経営戦略入門。	網倉 久永(著)、新宅 純二郎(著)	日本経済新聞出版 (2011/5/14) 468ページ	3740	453213403X
---------------------	--------------------	--------------------------------	------	------------

### その他

- 毎回、前回課題へのフィードバックや振り返りを解説する。優れた提出内容や改善してほしい内容等を、マーカーや色付けで強調して表彰や注意喚起をする。モチベーションアップにつながるだろう。
- 「授業プリント」、「先生説明版」と「映像ビデオ版」等配布資料は必ず各自キャンパスクロスからアクセス・ダウンロード・保存・印刷等を済ませて教室まで持って来てください。  
 留意注意：本授業はリュウカポータルには、最初の授業連絡通知と最後の期末試験通知の2回だけを提示するが、基本的にその以外の授業資料や授業連絡・レスポンス課題提出等の連絡を一切掲示しない。代わりにすべての資料・連絡・レスポンス課題等はキャンパスクロスから連絡・公開する。  
 不明の場合、大学のメールでの相談を利用してください。
- 授業はPPT・プリント資料、映像、討論、発言、課題提出で進む。プリントには穴埋めが相当設けられ、授業中のPPTを確認しながら記入してください。

### 授業計画

- 授業計画。注：( )内はビデオ内容。
- イントロダクション(ジャンパネットたかた 上編)  
 予備内容：シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること(60分)  
 授業内容：講義ノートを整理・復習し、授業内容の理解を深めること(180分)
  - 経営戦略の概念(ジャンパネットたかた 下編)  
 予備内容：シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること(60分)  
 授業内容：講義ノートを整理・復習し、授業内容の理解を深めること(180分)
  - 経営戦略：立案と決定その1(ヤマザシロ 上編)  
 予備内容：シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること(60分)  
 授業内容：講義ノートを整理・復習し、授業内容の理解を深めること(180分)
  - 経営戦略：立案と決定その2(ヤマザシロ 下編)  
 予備内容：シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること(60分)  
 授業内容：講義ノートを整理・復習し、授業内容の理解を深めること(180分)
  - 経営戦略：立案と決定その3(富士フィルム)  
 予備内容：シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること(60分)  
 授業内容：講義ノートを整理・復習し、授業内容の理解を深めること(180分)
  - 競争戦略：差別化戦略その1(クルーズのビジネス・モデル)  
 予備内容：シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること(60分)  
 授業内容：講義ノートを整理・復習し、授業内容の理解を深めること(180分)
  - 競争戦略：差別化戦略その2(東芝のビジネス・モデル)  
 予備内容：シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること(60分)  
 授業内容：講義ノートを整理・復習し、授業内容の理解を深めること(180分)
  - 競争戦略：企業ドメイン(経緯鉄道)  
 予備内容：シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること(60分)  
 授業内容：講義ノートを整理・復習し、授業内容の理解を深めること(180分)
  - 競争戦略：アップの要因。市場マトリックス(トヨタ活動の5年)  
 予備内容：シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること(60分)  
 授業内容：講義ノートを整理・復習し、授業内容の理解を深めること(180分)
  - 競争戦略：電話ライフサイクルと経験曲線(ローンゼラー 商品)  
 予備内容：シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること(60分)  
 授業内容：講義ノートを整理・復習し、授業内容の理解を深めること(180分)
  - 競争戦略：PP戦略(負けた?ハラステンボスの奇跡的な再生)  
 予備内容：シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること(60分)  
 授業内容：講義ノートを整理・復習し、授業内容の理解を深めること(180分)
  - 競争戦略：PP戦略(ハラステンボスの奇跡的な再生と流石)  
 予備内容：シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること(60分)  
 授業内容：講義ノートを整理・復習し、授業内容の理解を深めること(180分)
  - 競争戦略：市場創造と競争ポジション(ザマ 巻頭)  
 予備内容：シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること(60分)  
 授業内容：講義ノートを整理・復習し、授業内容の理解を深めること(180分)
  - 競争戦略：資料の構造分析。ポーターの5P(資料リポート)  
 予備内容：シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること(60分)  
 授業内容：講義ノートを整理・復習し、授業内容の理解を深めること(180分)
  - 全般的振り返り。経営戦略で何を勉強したのか(バス主催者ワタケの経営戦略)  
 予備内容：シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること(60分)  
 授業内容：講義ノートを整理・復習し、授業内容の理解を深めること(180分)

### 授業形態(アクティブ・ラーニング)

ア：PBL(課題解決型学習)	イ：反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認の要素を教室で行う授業形態)
○ウ：ディスカッション、ディベート	○エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他(A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

### 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

- 企業や組織の運営仕組みを自ら主体的な立場から的確に理解できる。
- 身につけた知識・能力・資格等を生かして、組織メンバーと外部関係者とも協力的に働かせる。
- 時代の要請に応え、戦略的な計画を立案し、柔軟で俊敏に変革する視野と能力を持って実行できる。

### 双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

- 講義を聞くだけでなく、考えてグループワークで喋ったり、発言をする。映像を見るだけでなく、メモしたり考えたり、レスポンスに回答を出したり、気軽に発言してみよう。
- 質問やクイズなど、積極的に考えて、発言をしてみてください。
  - 他人の発言を聞いて、自分も発言できるように授業に臨んでください。
  - 先進的なレスポンスなどのシステムを駆使し、リアルタイムで他人の課題結果をグラフなどで確認でき、授業の効率と学習意欲の向上に繋がる。

### 実務経験の有無及び活用

なし。

### 備考

学生による評判が高い本授業は以下の特徴があるので、真面目な構えがあれば是非一度体験してみませんか。  
 通り甲斐のある授業(そうか!これこそは大学らしい授業だ!)。  
 静かで受講できる環境(私語ほとんどない!)。  
 感度でいい(部活の時間でも!)。  
 みんな一緒に互いに勉強する(自力・他力、皆の力を感じる!)。